

令和3年度事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

1) 特定非営利活動に係る事業

(1) 福祉・医療サービス人権相談事業

毎週日曜日に電話相談を設けました。2021年度の相談日は48日でした。

今年度対応した相談ケースは以下の表の通りです。コロナ禍にありましたが、感染状況に配慮をしつつ対面の相談も行いました。

相談事案	主訴	対応	結果
相談者の子どもが通う認定子ども園の保育に関する相談	①岡山市の苦情受付対応に対する不満 ②転園に関する岡山市の対応への不満	岡山市幼児教育課、就園管理課に対して、相談者とともに状況確認を行った。	認定こども園への信頼関係破綻から、苦情処理や転園に関する相談を岡山市にしていたが、相談者を責める口調も確認できたため、その市民への態度が問題を助長しているとその場で指摘した。
生活保護停止に関する相談	福祉事務所から、現在の家庭状況からすると生活保護停止や返還となると説明を受けた。	対面にて相談を行う。「岡山生活と健康を守る会」に連絡を取り、相談者への対応の引継ぎを行った。	「岡山生活と健康を守る会」の担当者が相談者とともに福祉事務所職員の説明を受けたことで、支給変更の理由とその説明の不適切さが明らかになった。
ホームヘルパー事業所の労働環境に関する相談	現在のホームヘルパー事業所で働いていて、事業所管理者が多忙過ぎて現	本事案は、特定のホームヘルパー事業所の問題ではなく、コロナ禍のためホ	岡山市議より、県内の介護労働安定センターにヒヤリングを行うこと、年度

	場のヘルパーが混乱している。退職者も増えている。	ホームヘルプ事業所全般に負荷がかかっているためではないか。相談者とともに岡山市議に面談した。ホームヘルパー事業所の抱える現状について共有した。	内の議会で質問することになった。
障害者支援施設を利用する本人および家族への対応に関する相談	本人への対応を職員がしきれず、家族が呼び出された。朝まで施設にいることを強要された。	電話にて、これまでの経緯を傾聴した。	当該施設内の苦情処理の仕組み（第三者委員会）を紹介した。

(2)調査研究事業

2020年度に調査を開始した「介護保険法に基づく実地指導等の実態(担当者数、実施内容・件数)に関する調査(平成12年度から令和2年度)」のまとめを行いました。2022年3月19日の「2021年度人権・福祉講座」において調査結果を報告しました。

(3)人材育成事業

① 福祉オンブズカフェ

オンラインアプリのZoomを使って、毎回福祉にかかわる話題提供し、その話題（体験、考えなど）について、自由に語り合うイベントをしました。福祉に関する問題意識を共有する機会を通じて、学び合う人たちを増やしていく努力をしました。

奇数月の最後の土曜日の午前10時から90分間行いました。1回当たりの参加者は理事4名、それ以外5名程度でした。

② 人権福祉講座（令和3年度岡山市人権啓発活動補助金）

2022年3月19日、Zoomにて「介護保険法に基づく実地指導等の実態(担当者数、実施内容・件数)に関する調査(平成12年度から令和2年度)」の結果発表を理事の藤井と猶原が行いました。自治体によるばらつきが多いものの、総じて、指導する側の行政担当者の方が指導されるはずの福祉側よりも経験不足ではないかとの危惧が示されました。

協力してくれた自治体から3名の職員がオンライン参加され、関心の高さを感じました。

(4)情報公開事業

以下につきネット上での対応を継続しております

- ・毎週の電話相談につき、ホームページ・SNS(Facebook)上での告知。
- ・随時の催事(総会、人材育成講座、調査研究発表)につき、告知および報告。

福祉オンブズカフェの隔月開催等の行事告知・報告を増やしました。その結果、SNS上の閲覧数や反応(いいね)数が前年度より増加している印象です。頻繁な情報更新の重要性が再確認されました。

(5) 出版事業

「介護保険法に基づく実地指導等の実態(担当者数、実施内容・件数)に関する調査(平成12年度から令和2年度)」報告書を出版しました。本調査対象であった介護保険法に基づく実地指導担当課(28自治体)に寄贈し、希望者には実費で送付しました。

(6) その他、法人の目的を達成するために必要な事業

「令和3年度岡山市人権啓発活動補助金」を申請し、獲得しました。この補助金は、「2021年度人権・福祉講座」に充てることができました。

会報22、23、24号を作成、送付しました。

2) その他の事業

(1) 出前教室事業

当面の休止を継続しています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
福祉・医療サービス人権相談事業	岡山県内の社会福祉サービス関係者から寄せられた人権問題に関する相談活動を行う。	毎週日曜日 10時～15時	事務所 (岡山市北区野田5-8-11)	7名	一般市民多数	28
調査研究事業	「介護保険法に基づく実地指導等の実態(担当者数、実施内容・件数)に関する調査(平成12年度	令和2年10月～12月	事務所 (岡山市北区	5名	一般市民多数	57

	から令和2年度)」を実施した		野田5-8-11)			
人材育成事業	<p>① 福祉オンブズカフェ</p> <p>テーマ：「成年後見制度」話題提供：今岡清廣さん（社会福祉士）</p> <p>テーマ：「在宅医療を語ろう—1月100件の往診をする医師に聞く悲喜こもごも—」話題提供：清水順子さん（倉敷医療生協 玉島協同病院 医師）</p> <p>テーマ：「いくつになっても「動くを楽しむ」ことができる社会を目指して—地域福祉の観点から、寄り添いのありかたを考える」話題提供：猪田有弥さん（にしあわくらモビリティプロジェクト代表・社会福祉士）</p> <p>テーマ：「一人ひとりの暮らしをまもるために 老人医療・福祉の現場で働いた経験から「暮らしを考える」」話題提供：猶原真弓さん（NPO法人福祉オンブズおかやま理事、元医療ソーシャルワーカー/ケアマネジャー経験者）</p> <p>② 人権福祉講座（令和3年度岡山市人権啓発活動補助金） 2021年度人権・福祉講座「知っておきたい岡山の「実地指導」実態」講師：藤井宏明（福山平成大学福祉健康学部福祉学科教授）、猶原真弓（当法人理事）</p>	<p>令和3年9月25日</p> <p>令和3年11月27日</p> <p>令和4年1月29日</p> <p>令和4年3月26日</p> <p>令和4年3月19日</p>	<p>オンライン</p> <p>オンライン</p>	<p>5名</p> <p>5名</p>	<p>一般市民 延24名</p> <p>一般市民11名</p>	<p>17</p>
情報公開事業	当法人の活動を随時、ホームページおよびFacebookにて情報公開を行った。	随時	事務所（岡山市北区野田5-8	1名	一般市民多数	7

			-11)			
出版事業	過去の当法人が開催した「福祉 オンブズ相談員養成講座」の内 容をまとめる予定であったが当 該年度は、実施せず。	—	—	—	—	0

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	支出額(千 円)
出前教室事業	当法人の役員らの技能を他団 体の学習に貢献する出前事業を 検討していたが、当該年度は、 実施せず。	—	—	—	—

法人名： 特定非営利活動法人福祉オンブズおかやま

活動計算書

2021年 4月 1日 ~ 2022年 3月 31日 まで

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	15,000	15,000
2. 受取助成金等		
受取地方公共団体補助金	34,915	34,915
3. 事業収益		
調査研究事業収益	2,400	2,400
4. その他収益		
受取利息	2	2
経常収益計		52,317
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
広告宣伝費	7,850	
印刷製本費	52,000	
通信運搬費	36,316	
諸謝金	15,000	
雑費	330	
その他経費計	111,496	
事業費計		111,496
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
印刷製本費	17,508	
通信運搬費	53,799	
消耗品費	880	
雑費	850	
その他経費計	73,037	
管理費計		73,037
経常費用計		184,533
当期正味財産増減額		△ 132,216
前期繰越正味財産額		518,420
次期繰越正味財産額		386,204

法人名： 特定非営利活動法人福祉オンブズおかやま

貸借対照表

2022年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	417,038		
未収金	35,285		
流動資産合計		452,323	
2. 固定資産			
有形固定資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			452,323
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	6,300		
未払金	59,819		
流動負債合計		66,119	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			66,119
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		518,420	
当期正味財産増減額		△ 132,216	
正味財産合計			386,204
負債及び正味財産合計			452,323

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	人権相談事業費	調査研究事業	人材育成事業費	情報公開事業費	事業費計
(1) 人件費					
人件費計	0	0	0	0	0
(2) その他経費					
広告宣伝費				7,850	7,850
印刷製本費		50,000	2,000		52,000
通信運搬費	28,816	7,500			36,316
諸謝金			15,000		15,000
雑費			330		330
その他経費計	28,816	57,500	17,330	7,850	111,496
合 計	28,816	57,500	17,330	7,850	111,496

3. 使途等が制約された寄付金等の内訳

使途が制約された寄付金等はありません。当法人の正味財産は386,204円ですが、そのうち使途が制約された財産はありません。

法人名： 特定非営利活動法人福祉オンブズおかやま

財産目録

2022年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	1,200		
ゆうちょ銀行	230,943		
広島貯金事務センター	184,895		
ろうきん	0		
未収金			
岡山市 補助金	34,915		
加藤聡	370		
流動資産合計		452,323	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			452,323
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金			
高崎和美	6,300		
未払金			
ほっと企画 印刷代	52,000		
NTTファイナンス 電話料2・3月分	5,419		
NTTドコモ 電話料3月分	2,400		
流動負債合計		66,119	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			66,119
正味財産			386,204

前事業年度の年間役員名簿

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

特定非営利活動法人 福祉オンブズおかやま

No	役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
1	理事長	高崎 和美		令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	報酬なし
2	副理事長	藤井 宏明		令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	報酬なし
3	理事	加藤 聡		令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	報酬なし
4	同	神崎 希望		令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	報酬なし
5	同	猶原 眞弓		令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	報酬なし
6	同	藤本 統久		令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	報酬なし
7	同	前原 成美		令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	報酬なし
8	監事	今岡 清廣		令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	報酬なし
9	同	梶原 行正		令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	報酬なし

【備考】

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 「役職名」の欄には、理事、監事又は理事の職名を定めている場合はその職名の別を記載する。
- 3 「住所又は居所」の欄には、各役員住所又は居所を証する書類の記載どおりに記載する。
- 4 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員についてそれぞれ記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬無し」とそれぞれ記載する。